

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学ぶ 豊かで たくましい生徒

黒西中だより

<http://kuronishichu.style.coocan.jp/>

TEL 048-768-5454

心のホット相談室 TEL 048-764-1110

第 7 号

令和元年 11 月 1 日

生徒数	1年 93名	3学級
	2年 105名	3学級
	3年 105名	3学級
合計	303名	9学級

ボランティアが好き —よいことを心を込めて繰り返す—

学校長 宗方 健二

緑の美しかった木々の葉も次第に色づき、一枚一枚と舞い落ちる季節となりました。先日の合唱コンクールでは、美しい音の響きを互いに作り出そうという心、素直な心、美しいものを求める心を聞くことができました。

さて、2学期の私の学校教育活動の努力点として「仲間を大切に」ということと「ボランティア活動の充実」があります。このことは、すでに生徒には話しています。生徒のボランティア活動を通して黒浜西中学校のブランド力が高まることを期待しています。このような中、ある児童の作文が目にとまりました。



『ボランティアがすき』 永本 典華さん(熊本県・小3)

わたしは、ボランティアになるゆめを持っています。そのわけは、じしんやつなみ、いろんなことがおきているからです。テレビでボランティアの人が、元気にはげましていたすがたがかっこよかったからです。

それで自分も大人になったら、ボランティアをして、けがをしている人に元気な顔を見せ、友だちやかぞく、みんなに元気な顔で「おはようございます」と言えるようになってみたいし、元気な顔でずっといられるようになりたいです。あと、みんなにめいわくをかけたり、いじわるをする人にはなりたくありません。みんなにもんくをいうと、みんなの心の中が、いやなことばかりになってしまうからです。だから、そういう人にならなければ、ボランティアになれるんじゃないかなと思います。

2016年4月、くまもとじしんがじょうなん町におそいかかってきました。わたしの家は、ぜんかいしました。それで小学校2年生のときは、2回しか学校にいけませんでした。いままで楽しかった時間はなんだろうと思いました。それで考えてみました。〈自分の夢...そうだボランティア〉と思ったのです。そこからボランティアにあこがれてきました。だから、これからは宿題や、あしたのじゅんびを自分でできるようにしたいと思います。それをむくひょうにしています。

わたしは、やはり、ボランティアがすきです。おてつだいをしたり、お母さんの肩もみをしてやくに立ちたいです。これからは、すすんでがんばりたいです。それでみんなに「ありがとう」といってもらいたいです。それをめあてにがんばりたいです。

蓮田マラソンに29名、親子ふれあい村に32名、学校便りの配布及び落ち葉掃きなどの環境美化に76名、黒浜西中学校の生徒がボランティアに手をあげてくれました。よいことを心を込めて繰り返す活動で社会参画を果たしていきたいと思っています。